

令和5年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
栄養指導		講義	田丸 淳子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
現代の健康と食生活に関する問題や課題と、歯科衛生士が必要とする栄養指導の知識と技法について学ぶことを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 国民の健康と栄養の現状を説明できる。 2. 望ましい食生活、食事計画、食品分類、食事バランスガイドを説明できる。 3. ライフステージと食生活を説明できる。 4. 疾患の治療食、特定保健食品を説明できる。 5. 高齢者を取り巻く問題と栄養指導を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	健康と食事：健康と食事の関わりについて理解する			
2	国民の健康と栄養の現状：国民健康・栄養調査を活用し、国民の健康と栄養についての課題を理解する			
3	日本人の食事摂取基準の活用（1）：日本人の食事摂取基準の個人に対する活用法を理解する。			
4	日本人の食事摂取基準の活用（2）：日本人の食事摂取基準を活用して、個人のエネルギー必要量や主な栄養素の目指したい摂取量を推定できる			
5	栄養計算（1）：日本食品標準成分表を使った栄養価計算法を理解する			
6	栄養計算（2）：栄養価計算結果を用いて栄養評価を行うことができる			
7	食の多様性（1）：食事バランスの考え方を理解する			
8	食の多様性（2）：食事バランスを考慮した献立（料理の組合せ方）について理解する			
9	ライフステージ（1）：妊産婦期、乳児期の栄養の特徴について理解する。			
10	ライフステージ（2）：幼児期、学童期、青年期の栄養の特徴について理解する。			
11	ライフステージ（3）：成人期の栄養の特徴と治療食、特定保健食品を用いた実践について理解する。			
12	ライフステージ（4）：高齢期の栄養の特徴と特定保健食品を用いた実践について理解する。			
13	栄養評価法（1）：食事調査法について理解する。食事摂取頻度調査法を実践できる			
14	栄養評価法（2）：習慣的な食事について評価し、アプローチ方法を検討できる			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	60%			
レポート・課題	40%	課題への取り組みや結果をもとに評価する		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
日本人の食事摂取基準2020年版	伊藤貞嘉・佐々木敏 監修		第一出版	
だれでもわかる・だれでも使える食事バランスガイド	早瀬仁美		農山漁村文化協会	
自由記載				
備考				
授業において必要な資料等は配布します。				